平成28年度病害虫発生予報第5号（8月予報）

＜今月のコラム＞　・マンゴーにおける収穫後の病害虫防除対策について
・気候の予測情報の紹介

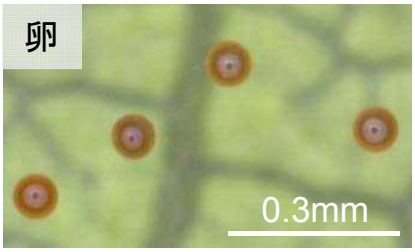
今月のトピックス

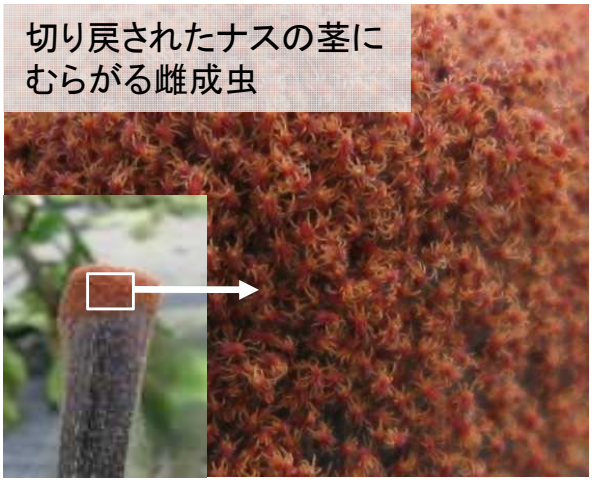
ナンゴクナミハダニ （野菜類）

学名：*Tetranychus okinawanus*















生態と被害

1993年に沖縄県で発見され、1995年に新種として記載された。カンザワハダニ等の他の*Tetranychus*属の種と形態がよく似ており、葉にかすり状の被害をもたらす点でも類似するが、卵が赤いことにより識別できる（他種では透明～黄色）。沖縄県では全域に分布し、最もふつうにみられるハダニであるが、他県での発見事例はない。サヤインゲン、ナス、ウリ類をはじめとした野菜類によく発生するほか、ニガナやサクナ等の島ヤサイ類、いくつかの花き類や果樹類にも発生することがある。農作物以外では、ハマアズキやグンバイヒルガオ等の砂浜に自生する植物、イヌホオズキ類やイヌビユ類、センダングサ類といった外来雑草、クワ等によく発生しており、これらがほ場への侵入源になっていると考えられる。現在のところ、多くの農薬に対して感受性が高い。

http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichubojo/index.html

平成28年7月28日
沖 縄 県 病 害 虫 防 除 技 術 セ ン タ ー